

## 令和5年度事業報告

令和5年度事業報告を承認願います。

### 概 況

令和5年度の公益社団法人宮城県食品衛生協会(以下{宮城県食協}という。)事業は、公益社団法人日本食品衛生協会(以下「日本食協」という。)の支援及び関係行政当局等の指導を戴き、地区食品衛生協会(正会員、以下「地区食協」という。)と協働して事業計画に基づく各種事業を実施して参りました。

### I 組織等に関する事項

#### 1 組織構成

##### (1) 役員数

理 事 15名	代表理事(会 長)	1名
	業務執行理事(副会長、専務理事)	5名
	理 事	9名
	監 事	2名

(2) 正会員数(地区食品衛生協会) 9名  
 賛助会員 10名

##### (3) 地区食品衛生協会会員数等 ( 令和5年12月31日現在 )

会員数 7, 118名 (内自販機会員27名)  
 施設数 9, 422施設 (内自販機422施設)

### <法人運営事業>

#### 2 会議等の開催

##### (1) 総会、理事会、会長・副会長会議の開催

No.	会議名	開催日・会場	内 容
1	総 会	令和5年6月13日(火) 多賀城分庁舎会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度事業報告及び決算の承認について</li> <li>・令和5年度事業計画、収支予算について</li> </ul>
2	理 事 会	令和5年5月19日(金) 多賀城分庁舎会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度事業報告及び決算の承認他について</li> <li>・社員総会の招集について</li> <li>・令和5年度事業計画、収支予算承認について</li> <li>・eラーニング養成講習会開始について 他</li> </ul>
		令和5年10月10日(火) 多賀城分庁舎会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度事業の中間報告について</li> <li>・新規食品衛生指導員の人材確保と育成プログラムについて</li> <li>・宮城県協会の収益事業の健全化に向けた方策について</li> <li>・令和5年度宮城県食品衛生指導員大会について</li> <li>・知事表彰、会長表彰推薦候補者について 他</li> </ul>

		令和6年3月19日(火) 多賀城分庁舎会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度事業計画(案)及び収支予算(案)の承認について</li> <li>・資金調達、設備投資見込み(案)承認について</li> <li>・食の安心・安全五つ星事業参加促進について 他</li> </ul>
3	会長・副会長会議	令和5年5月19日(金) 多賀城分庁舎会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回理事会(決算理事会)の提出議案案件の調整ほか</li> <li>・厚生労働大臣表彰者の候補者の選考結果並びに厚生労働省医薬・生活衛生局長表彰被表彰者選考</li> </ul>
		令和5年9月26日(火) 多賀城分庁舎会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度事業中間報告について</li> <li>・新規食品衛生指導員の人材確保と育成プログラムについて</li> <li>・法人(みなし法人)の税関係等申告義務並びにインボイス制度への対応について</li> <li>・宮城県知事表彰(食品衛生功労者)及び公益社団法人宮城県食品衛協会長表彰者選考</li> </ul>
		令和6年3月7日(木) 多賀城分庁舎会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3月19日(火)開催の予算理事会議題調整</li> <li>・令和5年度事業計画(案)及び収支予算(案)</li> <li>・食の安心・安全五つ星事業参加促進</li> <li>・検便、食品自主検査契約</li> <li>・食品衛生協会入会促進について</li> <li>・宮城県食協事務局長の辞任及び専務理事の辞任について 他</li> </ul>

## (2) 専門部会の開催

宮城県協会が実施する各種事業の展開と円滑な運営を図る為、「総務・組織部会」及び「指導・普及事業部会」の2部会を書面により協議しました。

部会名	開催日・会場	内 容
指導・普及事業部会	令和5年7月21日(金) 書面提案	・会報「みやぎ食品衛生」編集
総務・組織部会	令和5年11月6日(月) 書面提案	・宮城県食品衛生指導員大会について

## (3) 職員会議、役員及び事務職員合同研修会の開催

各種事業の円滑な運営を図る為、事務職員会議を開催しました。

部会名	開催日・会場	内 容
事務職員会議	令和5年5月30日(火) 多賀城分庁舎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・五つ星事業、</li> <li>・eラーニング管理業務、</li> <li>・協会加入促進パンフについて</li> </ul>

※ 役員及び事務職員研修会は中止延期としました。

## (4) 公益社団法人 日本食品衛生協会の会議等への参加

会議名	年月日・会場	内 容
-----	--------	-----

1	日本食協 理事会	令和5年5月26日(金) 食品衛生センター(東京都)	・決算の承認 議題承認 書面決議
2	日本食協 専務理事、事務局会議	令和5年6月22日(木) 食品衛生センター(東京都)	・インボイス制度と電子帳簿保存 法 ・インボイス制度日本食協対応に ついて
3	日本食協 令和5年度定時総会	令和5年6月23日(金) 食品衛生センター(東京都)	・令和4年度事業報告 ・令和4年度計算書類の承認 ・令和5年度正会員会費算定基準 ・役員の一部補選について ・令和5年度事業計画及び収支予算 の報告
4	令和5年度日本食品衛 生共済協同組合通常 総代会	令和5年6月23日(金) 食品衛生センター(東京都)	・令和4年度事業報告 ・令和4年度決算報告 ・令和5年度事業計画及び収支予算 の報告 ・理事の任期満了に伴う改選
5	第48回食品衛生懇話 会	令和5年8月1日(火) 食品衛生センター(東京都)	・食の安心安全対策について
6	日本食協全国支部長 会議	令和5年10月18日(水) 食品衛生センター(東京都)	・令和5年度事業の進捗状況につい て
7	食品衛生指導員全国 大会	令和5年10月18日(水) ニッショウホール (旧ヤクルトホール)	・食品衛生指導員体験発表 ・食品衛生指導員理事長表彰
8	第68回食品衛生功労 者・食品衛生優良施設 表彰式	令和5年10月19日(木) 明治座	・厚生労働大臣表彰 ・日本食品衛生協会会長感謝状
9	食品衛生センター竣工 披露式・新春賀詞交歓 会	令和6年2月13日(金) 食品衛生センター(東京 都) 浅草ビューホテル	・新食品衛生センター竣工披露 ・新春賀詞交歓会
1 0	日本食協支部長会議・ 予算理事会(日食協共 済協同組合)	令和6年3月22日(金) 食品衛生センター(東京 都)	・事業計画・予算関係

(5) 北海道・東北ブロック連絡協議会及びブロック大会等への参加

① 北海道・東北ブロック連絡協議会

開催日時	令和5年6月14日(水) 15:30-17:00
開催場所	郡山商工会議所会議室(福島県郡山市)
出席者数	2名(会長、専務理事)

② 北海道・東北ブロック三部会長会議

開催日時	令和5年6月14日(水) 13:30-15:00
開催場所	郡山商工会議所会議室(福島県郡山市)
出席者数	2名(県協会事務局)

③ 北海道・東北ブロック大会

開催日時	令和5年6月15日(木) 14:00-19:05
開催場所	ホテルハマツ
出席者数	19名 (全体210名)

II 事業活動の内容

事業計画に基づく公益目的事業、収益事業等の執行状況は次の通りです。又、事業の詳細は別紙資料のとおりです。

<公益目的事業>

1 食品衛生に関する自主衛生管理の推進事業

県費補助金(自主活動育成事業)962,000円及び日本食協食品衛生指導員活動特別補助金(食品衛生指導強化費)468,780円の交付を受け、次の事業を行いました。

(1)食品衛生指導員活動支援事業

食品衛生指導員(総数593名)のうち、指導員活動に要する食品衛生指導票を令和5年度140部作成し配布しました。

地区食協は、日本食協が策定した重点指導項目及び宮城県食協の指導項目に基づいて、食品衛生指導票を活用し営業施設の巡回指導を行いました。

1)重点指導項目

○ HACCPの考え方を取り入れた衛生管理の定着と振り返り

2)巡回指導項目の徹底

管理運営基準の周知・遵守の徹底、自主的な衛生管理の確立の推進、食品営業賠償共済(「あんしんフード君」及び「スーパーあんしんフード君」を含む)など各種共済の加入促進、食品営業者検便・食品衛生検査の徹底、月刊「食と健康」の購読の推進等を行いました。

(2)第60回宮城県食品衛生指導員大会の開催

指導員の資質の向上と連携を図り、各種受賞者の栄誉を称える等の為、大会を開催しました。

1)開催日時・場所 令和5年11月29日(水) ホテル 白萩 (仙台市)

2)参加者 97名

3)第一部 表彰 知事表彰(食品衛生功労者4名、食品衛生優良施設6施設)  
会長表彰(食品衛生功労者18名)

4)第二部 体験発表者 3名  
「食品衛生指導員として」

仙南食品衛生協会 石川 憲夫氏

「指導員・支部長になってみて感じたこと」

黒川食品衛生協会 日下 貴博氏 「温暖化、コロナ5類引き下げ、風評被害とどう取り組むか」

5) 第三部 食品衛生講演会

演題 「腸内細菌検査の重要性」

－ 特に腸管出血性大腸菌と衛生管理について －

講師 株式会社 日本微生物研究所

取締役 精度管理室長 佐藤 寿夫氏

6) 大会終了後、受賞者祝賀会を開催しました。

祝賀会の席上、年度内にその他の式典も含め受賞された方々の紹介を行いました。

厚生労働大臣表彰 食品衛生功労者、優良施設 3名、2施設  
厚生労働省 医薬・生活衛生局長 1名  
公益社団法人日本食品衛生協会会長表彰 6名 2施設  
公益社団法人日本食品衛生協会会長感謝状 3名(行政担当者)  
退任食品衛生指導員 6名  
公益社団法人日本食品衛生協会理事長表彰 5名

※大会の内容は会報「みやぎ食品衛生111号」に掲載しました。

(3) 食品衛生指導員研修会等の開催

食品衛生指導員養成講習会(隔年開催)の令和5年度の実施状況は以下のとおりでした。

実施年月日	場 所	受講者数	修了者数内訳
令和6年2月9日	石巻保健所登米支所	13	大崎3、栗原2、登米5、石巻3
令和6年2月14日	宮城県多賀城分庁舎	18	黒川5、塩釜10、石巻1、登米1、県協会1
令和6年2月15日	気仙沼保健所	5	気仙沼5
令和6年2月21日	大河原合同庁舎	6	仙南5、岩沼1

また、日本食協が9月26～27日の2日間さいたま市で開催した全国研修会に仙南、岩沼食品衛生協会から各1名を派遣しました。

2 食品衛生責任者講習会の実施事業

食品衛生法施行条例及び食品衛生法施行細則の規定に基づき知事から食品衛生責任者講習会実施の認定を受けて養成講習会、実務講習会を開催しました。実施に当たっては講習会開催事務等を各地区食協に委託しました。

5月25日に多賀城分庁舎において、宮城県環境生活部食と暮らしの安全推進課担当者及び講師(行政の講師を除く。)と講習日程、内容、時間等について打合会議を行いました。

(1) 養成講習会

29回実施、受講者 1,388名 養成講習会受講免除者 66名

(2) 実務講習会

40回実施、受講者 1,307名

(1) 令和5年5月からweb上でインターネットによるeラーニング食品衛生責任者養成講習を

開始し令和5年度に131名が資格取得しました。

### 3 衛生知識の普及啓発事業

#### (1) 食品衛生推進員活動事業

宮城県から食品衛生推進員活動事業を受託し、知事の委嘱を受けた98名の食品衛生推進員が各地区食協において食品衛生責任者講習会の開催時や食品営業許可更新受付時などに相談窓口を設置し、食品衛生に関する相談・助言、食中毒予防等の食品衛生知識の啓発等を行いました。

食品衛生推進員活動に要する費用については、各地区食協の活動実績に基づき委託費から所要額を配分しました。

食品衛生推進員委託業務事業費：2,057,000円

又、最新の食品衛生に関する知識の習得し、指導・相談に資するため食と暮らしの安全推進課が主催するHACCPに基づく衛生管理研修会(集合型、zoom配信)に参加しました。

・基礎編 令和5年9月19日(火) 午後1～5時 自治会館201会議室

・応用編 令和5年9月20日(水) 午後1～5時 自治会館201会議室

#### (2) HACCPの考え方を取り入れた衛生管理研修会

宮城県からHACCPの考え方を取り入れた衛生管理研修会事業を受託、県内3会場で主に小規模な飲食店、製造業者を対象とした研修会を開催、新しい衛生管理手法の定着に貢献しました。

令和5年12月4日(月) 古川商工会議所会館第5研修室

令和5年12月6日(水) 大河原町駅前コミュニティセンターイベントホール

令和5年12月8日(金) 塩釜商工会議所会議室

#### (3) 食中毒予防月間事業

細菌性食中毒が増加する時期の前に、宮城県が設定する食中毒予防月間(6月15日から7月14日)に合わせ、食品等事業者及び家庭からの食中毒等の事故の発生を防止する為、次の事業を行いました。

##### 1) 食品衛生知識の普及啓発

食中毒の防止を内容とした食品等事業者及び消費者向けのパンフレット

5,000部を作成し、宮城県9保健所・支所及び各地区食協の窓口や食中毒予防キャンペーンの会場で食品等事業者を始め多くの県民の方に配布し啓発しました。

##### 2) 食中毒予防キャンペーンの実施

食中毒予防月間(6月15日から7月14日まで)にあわせ、各地区食協において、食品衛生指導員、食品衛生推進員、保健所食品衛生担当者などと、市民が集まる大手量販店等で食中毒予防啓発キャンペーンを展開しました。令和5年度は9地区全ての食品衛生協会で実施、県民延5,000人に対して食中毒予防冊子、啓発グッズを配布しました。

##### 3) 食品衛生指導員による営業施設の巡回指導の実施

自主衛生管理指導として、食中毒が多発する時期を中心に食品等事業者の施設を巡回し、食品衛生上の管理運営が適正に行われるよう助言・指導を行いました。

##### 4) 厚生労働省・各都道府県が主催する「食品衛生月間(8月)」に協賛し、食中毒予防啓発用ポスターを9,000部印刷、食品等事業者、講習会受講者、県民に配布しました。

#### (4) 食品衛生情報の提供

1) 食中毒防止等の最新情報、会報等を当協会ホームページに掲載しました。

2) 会報「みやぎ食品衛生」第110号(8月発行)及び111号(1月発行)を各9,000部発行しま

した。

発行に当たっては、編集委員会を開催し編集方針及び内容を協議しました。

会報は日本食協、各道県協会、食品関係団体、食品等事業者等に配布し広く県民に食品衛生関係情報を提供しました。

3) 宮城県から6月13日に魚介類による「腸炎ビブリオ食中毒注意報」が発令(10月31日解除)され、各地区食協を通じて食品関係団体、食品等事業者等に周知を図った他、当協会ホームページに掲載し広く県民に注意喚起を行いました。

4) 「ノロウイルス食中毒の予防対策」講習会等の開催

ノロウイルスによる食中毒は特に冬期の集団食中毒が心配されますが、11月から1月までの「ノロウイルス食中毒予防強化期間」に塩釜と大崎の2つの食品衛生協会が協会員、一般を対象に予防対策講習会を実施しました。

(5) 月刊「食と健康」等刊行物の購読の推進

月刊「食と健康」は食品衛生に関する唯一の専門誌であるので、食品等事業者、食品衛生指導員、食品衛生責任者等に購読の推進を図りました。

### <収益事業等>[収益事業]

4. 食品従事者の検便及び食品の自主検査事業

地区食協において実施計画を作成し、食品等事業者に対して通知及び宮城県食協ホームページに掲載して検査を奨励し、それぞれ提携する検査機関と検便及び食品自主検査を実施しました。

令和5年度は、地区食協の実情に合わせ、5地区食協は一般財団法人宮城県公衆衛生協会、4地区食協は株式会社日本微生物研究所と連携して検査業務を推進しました。

検便28, 299件(前年比1, 797減)、食品自主検査1, 302項目(前年比184減)を実施しました。

5 宮城県収入証紙売捌き事業

宮城県の収入証紙売捌き人の指定を受け、各地区食品衛生協会(売捌き所)において収入証紙の売捌きを行い、食品等事業者や各種営業許可申請時及び一般県民等へのサービス向上に寄与しました。

### <収益事業等>[その他の事業(相互扶助等)事業]

6 食品衛生標識制度推進事業

食品衛生自主管理の意欲の増進を図り、一般消費者の利用に資することを目的として、日本食協が主導する「食の安心・安全・五つ星事業」を実施しました。

取得した営業施設は、宮城県食協、日本食協ホームページに掲載しています。

食品衛生自主管理上重要な五項目とHACCP計画実施記録等の実施状況を判定し、「五つ星」標識を掲示する。

令和5年度は、HACCP型21施設が参加しました。

7 食品営業賠償共済等推進事業

会員の福利厚生や経営の安定並びに消費者保護を目的とし、各地区食協では指導員の巡回指導、許可申請時、食品衛生責任者講習会等の各種講習会の機会を活用し、次の各種共済事業の推進を行いました。

(1) 食品営業賠償共済、「あんしんフード君」及び「スーパーあんしんフード君」など各種共済の加入促進

食中毒事件等、従業員の不注意によるお客の身体や持ち物に対する事故、施設の欠陥による事故などのリスクに対しても幅広く補償する「あんしんフード君」等

の加入を促進する。

業推進計画を作成して、普及推進員や各地区食協の職員による広報・勧誘を行いました。

(2) 食品営業賠償共済推進会議等

「食品営業賠償共済」web受付システム導入に備え、日食協主催の説明会に参加し操作手順の説明を受け、実際にパソコンで演習を行いました。

研修会名	開催日・会場	内 容
令和5年度「食品営業賠償共済」web受付システム導入研修会(日本食品衛生協会主催)	令和5年12月12日T KPガーデンシティ仙台(仙台市)	・令和6年10月導入が計画されている受付処理業務システムの概要と操作方法の研修 ・各種懸案事項協議

(3) 火災共済、従業員団体傷害保険の加入促進

営業者の不慮の災害に対応して、加入促進を図りました。

(4) 生命共済保険の加入促進

会員及びその家族の将来の生活設計に役立てるため、加入促進を図りました。

<食中毒発生状況>

仙台市を除く県内の食中毒発生件数は11件、患者数は20名でした。

県全体では19件、患者数 59名で、病因物質を見ると、寄生虫(アニサキス)13, 植物性自然毒2、細菌によるもの3、その他1でした。

(※ 食中毒件数・患者数は、令和5年1月1日から12月31日までの数です。)

令和5年度 会議・行事の実施状況

年 月 日	会 議 ・ 行 事 名	場 所	
5	19(金)	第1回 会長・副会長会議(大臣表彰選考等)	多賀城分庁舎
	19(金)	午前 決算書類等の監査	宮城県食協 多賀城分庁舎
		午後 第1回 理事会(決算承認)	
	26(金)	(公社)日本食品衛生協会決算理事会	書面提出
30(火)	宮城県食品衛生協会事務局職員会議	多賀城分庁舎	
6	1(木)	食品衛生責任者 講師打合会議	多賀城分庁舎
	13(火)	定時社員総会、第2回 理事会	多賀城分庁舎
	14(水)	北海道・東北ブロック連絡協議会	郡山商工会館
	15(木)	北海道・東北ブロック指導員大会	ホテルハマツ
	15(木)～ 7/14(金)	宮城県食中毒予防月間	県 内

	22(木)	日食協 専務理事事務局会議	日本食協食品衛生センター
	23(金)	(公社)日食協 定時総会	日本食協食品衛生センター
	30(金)	行政庁(県認定委員会)へ事業報告	宮城県食協電子申請
7	21(金)	会報「みやぎ食品衛生」編集	書面提案調整
8	1(火)～ 31(木)	食品衛生月間(厚生労働省)	県内
	1(月)	第47回 食品衛生懇話会 (欠席)	日本食協(東京)
	上旬	食品衛生推進員研修会	各地区食協
	中旬	会報「みやぎ食品衛生」110号発行	宮城県食協
	28(月)	県庁主管課訪問(会長、副会長)	食と暮らしの安全推進課
9	26(火)～ 27(水)	北海道・東北、関東甲信越、東海・北陸ブロック食品衛生指導員研修会	ザ・マークグランドホテル
	26(火)	第2回 会長・副会長会議(事業中間報告)	多賀城分庁舎
10	10(火)	第2回 理事会(中間業務報告等)	多賀城分庁舎
	18(水)	全国支部長会議・食品衛生指導員全国大会	ニッショーホール(東京都)
	19(木)	食品衛生功労者・食品衛生優良施設表彰式	明治座(東京都)
	27(木)	第1回宮城県食品衛生協会組織強化改革委員会	多賀城分庁舎
11	6(月)	総務組織部会 指導員大会実施計画	書面提示調整
	上旬～下旬	ノロウイルス食中毒予防研修会 7日 塩釜、13日 大崎	地区食協
	29(水)	宮城県食品衛生指導員大会・受賞者祝賀会	ホテル 白萩
12	上旬～下旬	年末年始 食品一斉取締	県内
	4(月)6(水) 8(金)	HACCPの考え方を取り入れた衛生管理研修会	大崎、仙南、塩釜会場
	12(火)	食品営業賠償共済web受付システム導入研修会	TKPガーデンシティ仙台(仙台市)
R6 1	上旬	会報「みやぎ食品衛生」111号発行	宮城県食協
	24日(水)	第2回組織強化改革委員会	多賀城分庁舎
2	2日(金)	食の安全安心推進会議(会長)	県庁第一会議室
3	12日(火)	第3回会長・副会長会議(予算調整)	多賀城分庁舎

	12日(火)	第3回 理事会( 予算承認 )	多賀城分庁舎
	22(金)	(公社)日食協支部長会議、予算理事会	(公社)日食協(東京)
	29(金)	行政庁へ事業計画書等の提出	宮城県食協